

指導と評価の年間計画（シラバス）

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	2	第3学年	All Aboard Ⅲ・「システム英単語」

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- コミュニケーション英語Ⅲの授業は「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という4技能の力をつける授業です。読んだり、書いたり、聞いたりする活動を多く行い、本文の音読活動がその核になります。積極的に取り組みましょう。
- 英語の語彙は、日々の単語の音読活動にしっかりと取り組み、語彙を増やしていきましょう

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標）

【第3学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅲ」（2単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。	コミュ英Ⅲ 授業内でのペア活動	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。	コミュ英Ⅲ 定期考査	事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	コミュ英Ⅲ 授業内で行うリスニング活動	説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。	コミュ英Ⅲ 授業内で行うリーディング活動 定期考査

3 学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (6 時間)	招き猫についての紹介を読み、その由来を理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・招き猫についての説明を読んで、その内容を口頭で要約する。 ・読んだことに基づき、について話す	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて、招き猫の由来について話す。	・招き猫についての説明を読んで、その内容を口頭で要約することができる。 ・読んだことに基づき、招き猫の由来について話すことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		(本単元では設定しない)	・ Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。	(本単元では設定しない)	
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・過去完了形について理解し、文を作ることができる。	・該当の文法事項が用いられた文の意味を理解する。	・該当の文法事項を用いた文の意味を理解できるか、簡単な文を作れるか。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 2 (6 時間)	野菜スイーツパティシエの柿沢安耶さんについて読み、「食」について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・食について関心を持ち、意欲的に読んだり聞いたりしている。	・各セクションを読む前に、食について知っている情報や、食について考えていることを、ワークシートに基づいて、ペアで伝え合う。	・様々な国の食文化について知っている情報や、漫才について考えていることを、間違えることを恐れず、積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・自分の食生活について相手に正確に伝えることができる。	・セクションごとに、興味をひかれた食文化について、ワークシートに英語で書く。	・興味をひかれた食文化の違いについて、適切に書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・野菜でスイーツをつくる柿沢さんの食に対する考えを正確に読み取ることができる。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、食文化の違いを読み、イメージとともに、その内容を理解する。	・食文化の違いについて理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・未来進行形について理解し、適切に使いこなすことができる。	・該当の文法事項が用いられた文の意味を理解する。	・該当の文法事項を用いた文の意味を理解できるか、簡単な文を作れるか。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 (6 時間)	リリー・マルレーンという歌を通して、戦場という極限状態において音楽の持った意味を考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		(本単元では設定しない)	・ワークシートを利用して、セクションごとに好きな音楽について例示する表現を用いた対話をペア・ワークで行う。	(本単元では設定しない)	
		「外国語表現の能力」			
		・仮定法過去を用いて、自分の考えを表現することができる	・ワークシートを用いて、セクションごと好きな音楽について、例示する表現を用いて簡潔な説明文を書く。	・音楽のジャンルについての説明を読み、その内容について、簡潔に説明する文章を書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・リリー・マルレーンについて理解し、概要や要点を捉えることができる。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、好きな音楽に関してイメージとともに、その内容を理解する。	・音楽のジャンルについての説明を読んで、その特性に関する情報の概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・仮定法過去について理解し、文を作ることができる。	・該当の文法事項が用いられた文の意味を理解する。	・該当の文法事項を用いた文の意味を理解できるか、簡単な文を作れるか。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 4 (8 時間)	世界自然遺産となった小笠原諸島について読み、その直面する問題について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・小笠原諸島の独自性について関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。	・セクションごとに、本文の音声を読み、事実と筆者の考えを区別して、ワークシートにメモする。	・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		(本単元では設定しない)	・ワークシートを利用して、世界遺産の功績についての対話をペア・ワークで行う。	(本単元では設定しない)	
		「外国語理解の能力」			
		・理由、効果、問題点などの詳細を理解し、段落のつながりを意識しながら読むことができる。	・セクションごとに、本文のを読み、事実と筆者の考えを区別して、ワークシートにメモする。	・ワークシートが適切に完成できているかどうか	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・否定表現について理解し、文を作ることができる。	・該当の文法事項が用いられた文の意味を理解する。	・該当の文法事項を用いた文の意味を理解できるか、簡単な文を作れるか。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

Lesson 5 (8 時間)	古代史の解明に大きな役割を果たしたロゼッタ・ストーンの解読にいたる経緯や、ヒエログリフの特徴について理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ロゼッタ・ストーンについて関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりしている。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらグループで伝え合う。	・間違えることを恐れず、情報や考えについて話している。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすることができる。	・ロゼッタ・ストーンの発展と、それらの利点・欠点について概要や要点を捉えることができる。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、科学技術についての情報や考えなどを、聞き手に伝わるように話すことができる。	・グループでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・ロゼッタ・ストーンに関する事実を正確に読み取ることができる。 ・つながりを示す語句に注意しながら読むことができる。	・ロゼッタ・ストーンの発展と、それらの利点・欠点について理解することができる。	・つながりを示す語やフレーズに注意して文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握することができる。	・定期考査の筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。
Lesson 6 (8 時間)	日本とスウェーデンのエネルギー資源利用の比較についてのプレゼンテーションを読み、理想的なエネルギー資源の活用について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・エネルギー資源の効果的活用について関心を持ち、積極的に読んでいる。	・ワークシートを利用し、キーワードをもとに各写真を示しながらエネルギー資源について簡単な英語で説明する。	・間違えることを恐れず、エネルギー資源の情報について話している。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・グラフやチャートなどの視覚資料を用いて、情報や考えなどを適切に書いたり発表したりすることができる。	・グラフやチャートを示しながらエネルギー資源について説明し、自分の考えを話す。	・エネルギー資源についての説明を読んで、写真を示しながら説明し、事実と自分の考えを区別して話すことができる。	・グループでの言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		・2つの国のエネルギー利用の共通点と相違点を理解しながら読むことができる。	・関連した画像などを見ながら、2カ国のエネルギー利用について理解する。	・エネルギー資源に関して読んだことを理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができていないかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・比較表現（倍数表現）についての基本的知識を身につけている。 ・図表に示されている内容を表現するための基本的表現を身につけている。	・該当の文法事項が用いられた文の意味を理解する。	・該当の文法事項を用いた文の意味を理解できるか、簡単な文を作れるか。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 (8 時間)	ルビー・ブリッジさんの経験と彼女がアメリカの公民権運動に与えた影響について理解し考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		(本単元では設定しない)	・ワークシートを利用して、セクションごとにルビー・ブリッジさんの生涯について例示する表現を用いた対話をペア・ワークで行う。	(本単元では設定しない)	
		「外国語表現の能力」			
		・過去分詞を使った分詞構文を用い、状況を説明できる。	・例示する表現を用いて簡潔な説明文を書く。	・ルビー・ブリッジさんについての説明を読み、その内容について、写真やグラフを見せながら、簡潔に説明する文章を書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・ルビー・ブリッジさんの経験について読み、概要や要点をとることができる。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら、公民権運動に関してイメージとともに、その内容を理解する。	・ルビー・ブリッジさんについての説明を読んだ、その特性に関する情報の概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・過去分詞を使った分詞構文について理解し、使いこなすことができる。	・該当の文法事項が用いられた文の意味を理解する。	・該当の文法事項を用いた文の意味を理解できるか、簡単な文を作れるか。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。